

2022年11月29日

各位

株式会社 紀陽銀行

紀陽リース・キャピタル株式会社向け 「紀陽サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、グループ会社である紀陽リース・キャピタル株式会社（本社：和歌山市、代表取締役：山本 敏樹 以下、同社）に対し、「紀陽サステナビリティ・リンク・ローン（以下、本商品）」を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本商品は、お客さまにSDGsに関する野心的な目標（SPTs：サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）を設定していただき、目標達成状況に応じて金利が変動する商品です。目標の達成にインセンティブを設定することで、お客さまのサステナビリティ経営の高度化を図ります。

同社がSPTsで定める対象機器の導入促進を行うことにより、同社の中心的な顧客である地域の事業者さまのCO₂排出量の抑制を促し、環境配慮型経営の支援につなげるものです。

紀陽フィナンシャルグループは、今後も地域の事業者の皆さまのSDGs達成に向けた取り組みを支援することで、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1. 本件の概要

借入人	会社名	紀陽リース・キャピタル株式会社
	所在地	和歌山県和歌山市中之島2249番地
	代表者	山本 敏樹
	設立	1996年1月
	事業内容	リース事業
実行日		2022年11月29日
融資金額		1,000百万円
期間		5年

2. SPTsの概要

SPTs	省エネ・脱炭素に寄与する機器（※）の年間契約額（リース・割賦）及び同累計額（2022年度～2027年度の同累計額2,415百万円）
	※LED照明機器、車両（EV・FCV・HV・PHV・PHEV）、充電設備・蓄電池、空調機器、冷凍冷蔵設備

- ・サステナビリティ・リンク・ローンとしての「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への整合性について、一般財団法人和歌山社会経済研究所よりセカンドオピニオンを取得しています。
- ・また、商品の仕組み自体に株式会社格付投資情報センター（R&I）より各種原則等に整合的である旨のセカンドオピニオンを取得しております。

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

